

大学は生成 AI とどう向き合うのか

ー 教育の質保証と新たな学びの可能性

日 時 2026 年 10 月 19 日 [月] 13:30-16:35

開催方法 対面およびオンライン

対面会場 名古屋大学 東山キャンパス
環境総合館レクチャーホール

事前申込：10/13 締切 参加無料 対象：高等教育に関心をお持ちの方 定員：対面 80 名 / オンライン 500 名

生成 AI は大学にて急速に浸透しつつあり、とりわけ大学教育に大きな変化をもたらす可能性を有している。そして大学では、教育の質保証と向上をどのように実現するのかという観点から、生成 AI に対する迅速かつ適切な対応が求められている。

まず重要となるのは、これまで大学教育の質保証を支えてきた教員の判断や承認の役割を、生成 AI の普及によってどのように捉え直すのかという点である。生成 AI による支援は、評価のあり方、授業設計や学習支援に新たな変化をもたらしつつある。さらに生成 AI は、既存の教育活動を効率化するだけでなく、これまでの制約を超えた新しい学びや教育の形を生み出す可能性も持っている。こうした変化は、一斉授業から学生ごとの理解度・関心・進度に応じた個別最適化学習への転換や、AI と協働しながら考え抜く学びや省察など大学教育そのもののあり方を大きく変えることも考えられる。

また、生成 AI への対応や活用を考えるうえでは、教員だけでなく、実際に AI を用いて学び、活動する学生の視点や実践も欠かせない。生成 AI の影響を最も日常的かつ直接的に受けているのが学生であり、「新しい学びを共につくる主体」として学生の視点や経験を今後の方向性に取り入れることが有用だからである。

このような問題意識の下、本シンポジウムでは、大学における生成 AI への対応・活用について、専門家や実践者から学ぶとともに、参加者が授業実践に活かせる具体的な視点や次のステップを探ることを目的とする。

総論	小方 直幸（おがた・なおゆき） 香川大学 副学長（教育改革・学術・教員評価・特命担当）、教育学部 教授
講演 1	田中 一孝（たなか・いっこう） 桜美林大学 リベラルアーツ学群 教授
講演 2	松田 昇（まつだ・のぼる） ノースカロライナ州立大学 計算機科学部 教授、 名古屋大学 高等教育研究センター 特任教授
講演 3	吉田 彩夏（よしだ・あやか） 名古屋大学大学院 情報学研究科 博士前期課程 1 年 / Google AI 学生アンバサダー
	三津 知曉（みつ・ともあき） 名古屋大学 経済学部 2 年 / Google AI 学生アンバサダー

申込方法	■対面の方 下記リンクまたは 2 次元コードから参加申込みのうえ、 当日会場へお越しください。 https://forms.cloud.microsoft/r/3m89siUaZn	
	■オンラインの方 下記リンクまたは 2 次元コードからお申し込みください。 https://us02web.zoom.us/webinar/register/WN_VqOy2vgmQF6FvTvtlBDnIq なお、どちらも定員に達し次第、締め切りいたします。	

お問い合わせ 名古屋大学 教育基盤連携本部
Mail: nuqa@t.mail.nagoya-u.ac.jp

主催：名古屋大学 教育基盤連携本部
共催：名古屋大学 高等教育研究センター
東海国立大学機構 アカデミック・セントラル

プログラム

13:15	受付開始
13:30	趣旨説明・諸連絡 加藤 真紀（教育基盤連携本部 教授）
13:35	開会挨拶 寺崎 一郎（名古屋大学 副総長）
13:40	総論 大学は生成 AI とどう向き合うのか ー 教育の質保証と新たな学びの可能性
14:10	講演 1 高等教育における 生成 AI ガイドラインの策定とその「実質化」
14:40	講演 2 教育の質向上に向けた生成 AI の理解と活用 (休憩 10 分)
15:20	講演 3 大学生の視点から見る生成 AI 活用の現在地
15:40	パネルディスカッション・質疑応答など モデレーター： 安田 淳一郎（教育基盤連携本部 准教授）
16:30	閉会挨拶 石井 秀宗（教育基盤連携本部 グループ統括長）

※プログラムの内容は、諸般の事情により
変更となることがありますので、ご了承ください。